

占 春 会 報

第 17 号

発行 八尾市大字千塚102 大阪府立清友高等学校
占春会事務局 TEL (0729)41局3456



ソフトボール部 三部優勝!!
次は二部・一部との試合を期待して

占春会 総会のご案内

と き 昭和62年3月29日(日)

受付 PM1時 開会 2時〜5時

と ころ 西武百貨店 八尾店

8階 バンケットルーム
(近鉄八尾駅前西武百貨店
8階レストラン街)

電話 0729-9710111

(大代表)

内線 478・480

第一部 一、三富校長先生あいさつ

- 一、占春会会長あいさつ
- 一、新入会員入会あいさつ

議 事

- (1) 61年度会許報告及び事業報告
- (2) 新役員紹介

第二部 新旧会員の親睦

(昨年は唄って喰べて大好評でした!!)

会 費 (当日受付けでお支払い下さい)

新入会員はご招待

20年卒〜61年卒 ￥ 3,000

▼二次会でクラス会を催したい学年は当日
▼近くの場所で企画されてはいかがですか▲

先生方の近況

(昭和61年度の教職員員の異動)

転出・昭和61年3月31日付

祝 朗 報

ご結婚

磯野彰先生 3月

原田 彰(生物)八尾定時制教頭へ

大上泰男(数学)住吉高校へ

折井亮夫(生物)生野高校へ

池上敏一(美術)八尾東高校へ

永吉盛彦(助手)退職

松本裕行(社会)退職

中野知恵(国語)茨田高校へ

三上いつみ(数学)高津高校へ

東野和美(英語)関西女子矯大附

属高校へ

着任・昭和61年4月1日付

片谷直治(生物)花園高校より

藤本武男(数学)市岡高校より

八木庸輔(美術)新採用

越野一郎(社会)常勤講師

宮前典世(英語)新採用

幸川由美子(生物)新採用

音川須美子(数学)新採用

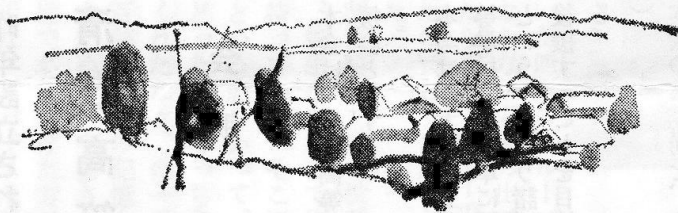
小林妙子(国語)常勤講師

石橋 都(助手)渋谷高校より

永本寿美(国語)4月12日付 常勤講師

訃 報

訃報新藤涉(国語)4月10日御逝去



!!さようなら 原田先生

いつまでも清友を忘れないで下さい!!

清友の歴史を記録に

原 田 彰

皆様にはそれぞれの立場でお元気で活躍のことと思います。

私は教師生活三十年目のこの四月に、八尾高校定時に教頭として転勤しました。いま、半年以上が経ち職場、仕事にも慣れました。帰宅が夜十一時になる夜型になりましたが、お蔭様で元気ががんばっています。

例えば、昭和三十二年春、大学を出てすぐ、清友高校で教師生活の第一歩をふみ出しました。学年三クラス、みがきあげられた板の廊下、玄関前の花壇、教壇生活のすべてが清友高校ではじまり、清友高校で終わったことになりました。教師として育てていただいた教職員、学校関係の方々、入学して卒業していった多くの生徒諸君への感謝であります。

八尾高校へ来て、多くの新しい

き、さらに文化祭で敏先生とご一緒に生物室で清友の歴史を展示しました。こんな時に古い資料をひもといたことを覚えています。

何か大きな行事へのきっかけかそういう仕事に関与しないとかなか身近かに感じられないこともありません。個人の家でも引越

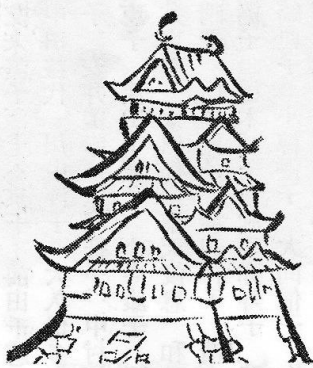
しや整理の度に古いものを不要と見なして捨ててしまうことが多いでしょう。清友高校も近く創立五十周年を迎えることとなります。

その時、中心になられる方々のご苦労はもとより、記録の仕事も大切だと思います。その折は少しでもお役に立てたらと考えています。

(昭和六十一年十月二十九日)

仕事の中で気づいたことに学校の歴史の資料のことがあります。現在、多くの学校で毎年のように、何十周年記念の式典等が行われています。こちらでも昨年九十周年で立派な資料館ができました。古いものから新しいものまで膨大な資料、記録の中から何を展示、ファイルにするかが大変大きな仕事になっていきます。何もかも入れると第二の倉庫になってしまいます。整理しきれない資料があっても必要な一コマが古い卒業生から貴重な資料として寄贈されたりしています。こちらの資料館の仕事を少しお手伝いしながら、清友高校での資料はどうであるかと考えたりしています。

これまでに「創立二十五周年・市立十周年」と府立移管時に「はばたく清友」の冊子が作られたと



ご挨拶

占春会会長

河合 隼子

卒業生の皆さんお元気ですか。母校、清友高校を卒業されてからそれぞれ進まれた道で、学ぶ事、働く事に生き甲斐を感じている方達、子育て最中で同窓生とはしばらく集まる時間もなく遠のいていく方達、今、まさに熟年に達して昔のクラスメートと逢う機会を持ち始めた方達、そして、創立初期の頃の年代、娘を嫁がし、息子にはお嫁さんを、孫の世話にウロウロ、又は、さあ人生はこれからとばかりに、晩学にいそしみ、趣味にたのしみを見つけて出している方達、この様に百人百様と申しましたようか、一人人に及ばぬとする卒業生が、人の世の織りなせる世界で頑張っておられる事と思っております。

私は年頭に、今年も又夫を愛し子を愛し、家を守って物事に感謝しつつ、一日一日を大切に過して行く事を心に誓いました。

皆さんどうぞお身体をご大切に、会報を通して私達は清友の卒業生である事を誇りに思い、母校清友の益々の発展を共に願って行く方達ではありませんか。

最後になりましたが、卒業生と学校とをつなぐ会報作成や発送(封筒の宛名書き)等、献身的にお手伝い下さいました役員の皆様方に心から御礼申し上げます。

一昨年設立されました

清友高等学校後援会

会 則

- 第1条 (名称) 本会は、清友高等学校後援会と称する。
- 第2条 (目的) 本会は、大阪府立清友高等学校(以下単に「学校」という)が行う諸活動を後援することを目的とする。
- 第3条 (事務局) 本会の事務局を、会長宅内に置く。
- 第4条 (事業) 本会は、第2条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。
- 1 学校の諸活動並びに諸行事に対する側面的援助。(会員の資格)
- 第5条 本会は、次に掲げる者のうち本会の目的に賛同する者をもって会員とする。
- 1 占春会会員(同窓会会員)
- 2 生徒の保護者及びその経歴のある者
- 3 学校の旧職員
- 4 前3号の者のほか、常任理事会の承認を得た者

(種類)

- 第6条 入会及び退会に付き省略
- 第7条 本会は、次に掲げる役員を置く。
 - 1 会長 一名
 - 2 副会長 三名
 - 3 書記 三名
 - 4 会計 二名
 - 5 常任理事 若干名
 - 6 理事 若干名
 - 7 監事 若干名
- 第8条から、第13条まで、役員役割に付省略。
- (会計)
- 第14条 (資産及び運営) 本会の資産は、会費及び寄付金品として、これをもって本会を運営する。
- (会費)
- 第15条 会員は、会費を納入するものとする。会費の額及び納入方法については、別に定める。
- (会計年度)
- 第16条 本会の会計年度は、毎年四月一日から翌三月三十一日までとする。
- (予算)
- 第17条 常任理事会は、毎年度予算案を作成し、理事会の承認を得なければならぬ。

(支出)

- 第18条 本会会計からの支出は、会長が常任理事会の承認を得て執行する。
- (決算)
- 第19条 常任理事会は毎年度決算案を作成し、監事の監査を受けたうえ理事会に報告し、その承認を得なければならぬ。
- 清友高等学校後援会細則(会則第15条 会費)
- 会則第2条及び第4条に対する入会納入方法
- 入会金 一口 二、〇〇〇円以上とする。

- 前会報16号にてお願いしましたところ、多数ご寄付、ご加入して頂き有難うございました。
- ご寄付頂いた旧職員の先生方
- 佐古広衛 平工四郎 小西康弘
 - 西澤小枝 樋口全毅 富田八郎
 - 寺井久良 加藤秋子 松尾正美
 - 内田伊都子 有岡信一 中田順造
 - 西田ハナ 児玉節雄 岡田昌訓
 - 相馬久敬 尾崎真二郎 辻惣二郎
 - 奥村義雄(敬称略) 以上19名
- 後援会にご加入して頂いた方
- 河合隼子 中易敬子 小林慶子
 - 中野郁子 阿部美子 安座菅子
 - 木場容子 田中光子 山口智津子
 - 藤田マリ子 築谷久子 森田偉子
 - 清水たつ子 羽田敦 六島頼子
 - 宮崎操子 山崎美貴子 柳生和子
 - 山上敏子 岩田容子 石原捷恵
- 中西明子 綾井加代子 松本静
片上未野 鮎谷欣子 辻本恵美子
友未美子 土谷京子 前田千恵
中田益代 川中淳子 大久保多来
子 安井美幸 永岡征子 中村須
恵子 浅田千賀子 小寺康子 阪
井恵美 太田都 業天俊恵 和田
晴子 山崎詔子 渡辺祥子 清水
協子 植木功子 武藤弥寿子 岡
崎典子 小椋優子 大向信子 白
井田喜久子 安井慶子 藪テル子
浅野香代子 木村理江子 藤平ひ
ろ子 宮崎美和子 酒井洋子 新
子喜久野 安村知子 小西貴子
熊田悦子 後藤智子 河合祐子
谷元子 服部浩美 上田眞規子
佐藤尚雄 野田貢正 大溝眞理
石井千春 上田敦世 上田道世
谷村淳司 中出剛生 杉本眞美
高康弘 植山利幸 大原由一 石
井美千代 林美幸 黒田雄策 永
井幸 川田富美子 金森千里 北
園眞由美 元原佳世 渡辺礼子
以上85名
- 学校の諸活動並びに、諸行事に対する側面的援助を目的とした後援会、引き続きご加入をお願いしたいと思います。
- 振替口座 大阪5 212221
- 清友高等学校後援会までお振込み下さいませ。
- 卒業年度、氏名を書き入れて下さい。
- 後援会書記 鮎谷 記

ク ラ ス 会 だ よ り



“ふみの会”と名付けました 23年卒生

二十三年卒 クラス会

可児 瞳(望月)記

昭和61年4月20日(日)PM1時 於 料亭「藤壺」出席 20名

その日は、一足飛びに春が抜けたような、新緑まばゆい陽ざしが映えていた。

二十年近いジブシー生活で、欠席を詫っていたので、出かける事に少し面映い気分がしていた。

丁度カメラを借りた弥刀の兄の家へ寄ったので、近くの原田さんを誘う事を思いつき、上六まで同行願った。上六では、彼女が待ち

合わせていた四人のグループと合流した。なかなか名前前の出てこない人がいたら、「モーモーの中西さん忘れたの」と、さんざんな出会いでした。

会場の割烹料亭では、世話役の中易さん、柳生さんがすでに私達の到着を待っていた。そこには、卒業以来という顔もあって、私は一瞬とまどったが、もっちゃん、ようきてくれたなア、の一言で、

もう勇気百倍、自分の記憶力のなさをかくすために、中易さんにお膳に旧姓で名札付けた方がいいよと、勝手なアドバイスなどをして、徐々に歳月はブレイバック。

齊藤先生、高村(大津)先生も見えて、会食がはじまると、もう話は四十年前に、タイム・スリップ。そこには停年世代の面影はなく、全員が大口をあけての笑いでユニークな話題に、戦中、戦後の暗い時代も豊かに学んだ、清友の面影が、年齢を忘れて甦って来るのです。

おさまりの現況報告があつて、会も終極をつげる頃、突然今出さんが、私「もっちゃんに逆上がり出来るまであかん、言われていじめられた」と告白? 本人は全く意識していない事でも、相手の方にとってはイジメになる事を、再認識した場面でした。死ぬ前に聞いておいてよかったと思つたものです。

飲めなくて、歌えなくての一員でも、時のたつのが惜しい!! と感じる一日ではなかったでしょうか。

ご来席の両先生が私に、「あなた達の清友には、本当の私学の良さがあつたわね」とおっしゃつたように、ふみの会の集いには豊かな感性が凝縮されていて、何時でも、何処でも、誰とでも分かち合える雰囲気があつて、ほんわかとした気分、心地よい余韻は今だに続いております。

最後に、この会を半世紀近くつなぎとめて下さっている。中易さん、柳生さんに感謝して、思いがけず指名を受けた感想文を終わります。

24、25年卒合同同窓会

六十一年十月七日(火)

於 上本町 なにわ会館

齊藤・大津先生、以下二十八名 秋晴れのひかりとなりて楽しくも爽りに入らむ 栗もくるみも

齊藤茂吉

仲秋の午後新装なつた会場のロビーで、皆様のお出迎えに立ってようこそ! お久し振り、分かる? 分かります。時間を後ずさりさせてセーラ服を着せればあの時の私達。

齊藤先生・長い教員生活にピリオドを打って、息子さんの待たれる山口県へ来春参ります。いいお土産になりましたとご挨拶。

大津先生・先生一年生で新入生の私達を担任し可愛い同志で印象深かった、と楽しいお言葉。



四期生同窓会(24・25年卒生)

私達四期生は、一、二期生の使命感溢れる長女的存在から見れば三女の気楽さが目立ってとても心苦しいのですが、しかし戦後あの混乱から民主主義確立を、先生生徒のへだてなく連帯で模索し、今に思えば貴重な体験授業の毎日で暗い戦前の教育を本来あるべき姿に戻すことに懸命な時代でした。

生徒主催の、バザー、演劇、運動会、修学旅行、すべて一気にかき出した活気ある学園生活を送れたのも、多くの戦争の犠牲の上で得た平和であればこそでしょう。

出席者多数で楽しい半日を演出お世話して下さいました奥山さん有難とう。出席出来なかつた皆さん又の機会に、再見。

世話人清水(奥山)加藤(山田隆)西井(秋村)古川(小倉)

36年卒

小寺 康子

五年前に二十周年を迎えて、あれからもう、五年目。本当に、月日のたつのは早いものです。

今年、私達が卒業致しまして、二十五周年になります。

これを記念致しまして、何か、残るものとは、考えまして、「14世紀」という、皆様方の近況を文集に致しました。

何分、原稿の集まりも少なく、期間も短かったのですが、原稿に協力して頂きました先生方や、皆様方のお蔭で、発刊する事が出来ました。

それと同時に、七月十三日(日)枚岡山荘で、二十五周年合同同窓会を開催致しました。

来て頂きました先生は、松尾先生、宗平先生、敏先生、原田(彰)先生、木村先生、西澤先生、藤岡先生の七人の先生方です。

私達の同窓会のために、気持ちよく来て頂いた事を、大変嬉しく思っております。同窓会の皆様方は三十数人で、少し集まりは、前の二十周年にくらべると、少なかつたようですが、なごやかなひとときを、過ごす事が出来ました。

朝から雨が降っていたのですが私達の同窓会を祝福してくれたのか、良い天気になりました。緑の木々が、ほこりを洗い流して、一段と美しく輝やいている庭を見ながら、いろんな話に話がはずみました。

次の三十周年が元気で迎えられるますようにと祈りつつ、合同同窓会を終えました。

43年卒

3年C組

去る五月十三日、十八年ぶりで三年C組のクラス会を開きました。昼食会の形式をとり、京阪天満橋駅で十一時に集合しました。

可憐な乙女(?)が、たくましい母親に変身して八人が集まり、楽しい一日を過ごすことが出来ました。十八年間、一度も会わなかったとは言うものの当時の面影をそれぞれが残っていて、すぐに誰だかお互に分かり、一度に清友時代に戻った感がありました。

一通り挨拶が終わると早速OMビル二十一階の中華料理店「東天紅」へと場所を移しました。バイキングスタイルの中華料理を食べながら話しに花を咲かせたのです。年齢が似た様な子供を持つ母親の集まりらしく、話題はついつい子供の話、それも教育関係の話しになるのは仕方ないでしょうね。多いに話し、多いに食べて二時間があっ！」と言う間に過ぎました。場所を喫茶店へと移し話しはまだまだ続きました。

清友時代の話しになると、色々なエピソードも飛びだし本当に楽しい半日でした。大川端で記念写真を撮り、再会を約して家路につきました。

次回は今回参加できなかった人も加え更に楽しいクラス会になる事と思います。

幹事：和田(旧姓北野)、西窪



43年卒Cクラス

〈ご案内〉

谷村 淳次

占春会の皆様いかがお過ごしでしょうか。平素は吹奏楽部に対しご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また前号でもお願いしました部への賛助金にもお願ひしました部への賛助金にも、本年はフルートとトロンボーンを、学校からはホルンとユーホニウムをそれぞれ一本ずつ購入することができました。紙上を借りまして、部への賛助金にご協力下さいました方々に心より御礼申し上げます。

現在の部員数は三十九名で、日夜活動しております。昨年の文化祭の舞台では大とりになりひとまわりもふたまわりも大きくなりました。また今年、念願の定期演奏会も左記の通り行うことが出来ることになりました。OBも共にすばらしい演奏会となるように、昨年十一月より日曜日にも練習してきましたのでぜひ御来場御視聴下さいますようお願い致します。

清友高校吹奏楽部
第一回定期演奏会のご案内
と き 昭和62年4月11日(土)

と き 昭和62年4月11日(土)
PM6時開演予定
東大阪市民会館大ホール
(近鉄永和駅下車すぐ)
入場無料

14世紀

卒業二十五周年
記念文集

占 春 会 役 員 名 簿

役 職	氏 名	卒業年度	〒 住 所	電 話
会 長	河 合 聿 子	21年	577 東大阪市足代新町2-48	06-781-1616 06-781-1717
副 会 長	中 易 敬 子	23	577 " 金岡3-24-16	06-721-8631
"	永 岡 征 子	34	691 堺市百舌鳥陵南町1-43	0722-78-4609
書記(名簿)	安 井 美 幸	34	581 八尾市恩智中町1-60	0729-43-6359
(本部)	小 椋 優 子	38	578 東大阪市岩田町5-1-5	0729-64-4376
(")	木 村 理 江 子	41	582 柏原市清州1-3-33-303	0729-71-2243
(")	谷 村 淳 司	59	581 八尾市志紀町西3-8-3-405	0729-49-4490
会計(名簿)	柳 生 和 子	23	537 大阪市東成区東小橋3-2-26	06-972-1707
(本部)	辻 本 恵 美 子	28	581 八尾市南本町2-1-2	0729-91-2026
(賛助会)	小 寺 康 子	36	631 奈良市中山町西1-868-39	0742-47-0521
会計監査	小 林 慶 子	20	538 大阪市東淀川区豊里2-1-5-912	06-320-1217
理 事	羽 田 敦	20	565 吹田市山田西4-6-1 千里ガーデンハイツ421	06-877-9357
	稲 部 恭 子	21	543 大阪市天王寺区玉造元町8-18	06-761-0588
	中 野 郁 子	20	535 大阪市旭町清水1-10-11	06-954-3927
	植 木 功 子	37	544 大阪市生野区巽北3-12-27	06-751-4259
	大 向 信 子	38	578 東大阪市吉田1-11-14	0729-62-4618
	姫 野 保	57	639-02 奈良県北葛城郡香芝町磯壁2-1015	0745-76-7126
評 議 員	山 崎 詔 子	37	536 大阪市東成区深江南3-7-8	06-976-7959
	市 川 弘 子	38	591 八尾市栄町2-7-14	0729-91-8700
	藤 平 ひろ子	43	581 東大阪市弥生町10-9	0729-82-7919
	川 村 常 子	45	581 八尾市本町4-5-11	0729-22-6107
	林 越 元 子	54	579 東大阪市鷹殿町15-19	0729-82-3761
	楠 野 君 恵	55	577 東大阪市近江堂1-4-10	06-723-8208
	播 磨 恭 子	57	543 大阪市天王寺区大道2-8-5 原田ハイツ502	06-772-9825
	安 堂 清 子	57	581 八尾市末広町2-7-15	0729-91-8447
	渡 辺 幸 夫	58	577 東大阪市源氏ヶ丘14-25	06-721-7569
	中 田 幸 生	58	580 八尾市東山本町7-4-15	0729-96-1350